

【土砂災害対策】

大雨警報発表後、今後の降雨予測に基づいて「土砂災害警戒情報」が発表されます。山（がけ）崩れに伴う危険箇所または土石流に伴う危険箇所付近に居住されている方は、自主的な避難を開始しましょう。（市は、土砂災害警戒情報などの情報を参考に「避難勧告等」を発令します。）

また、土砂災害警戒情報の発表がなくても、場所によっては、局地的な異常現象も考えられます。普段と違う状況に気付いたら、周りの住民に声を掛け、安全な場所に避難してください。（後で市に連絡してください。）

※大雨警報解除後も土砂災害の可能性があるため、避難場所から帰宅する場合は事前に市の了解を得てください。

土砂災害に伴う危険箇所は、「小松島市洪水ハザードマップ（洪水・土砂災害）」や「土砂災害ハザードマップ」で確認してください。



ハザードマップは、市ホームページにて公開しています。

土石流と前ぶれ現象

土石流とは

谷や斜面に貯まった土・石・砂などが、梅雨や大雨により水と混じり合い、一気に流れ出してくることが「土石流」です。破壊力が大きく、また速度も速いので大きな被害をもたらします。



前ぶれ現象

- ◎ 山鳴りがする
- ◎ 急に川の流れる音が濁り、流木が混ざっている
- ◎ 雨が降り続けているのに水位が下がった
- ◎ 腐った土の臭いがする



地すべりと前ぶれ現象

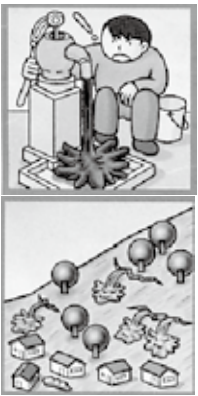
地すべりとは

比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層など滑りやすい面が、地下水の影響などでゆっくりと動き出す現象です。一度に広い範囲が動くため、ひとたび発生すると住宅、道路、鉄道、耕地などに大きな被害をおよぼしたり、川をせき止めて洪水などを引き起こすことがあります。



前ぶれ現象

- ◎ 沢や井戸の水が濁る
- ◎ 地面にひび割れができた
- ◎ 斜面から水が噴出する
- ◎ 家や擁壁に亀裂が入った
- ◎ 家や擁壁、樹木や電柱が傾いた
- ◎ 斜面に段差ができた、亀裂が生じた



山（がけ）崩れと前ぶれ現象

山（がけ）崩れとは

地盤にしみ込んだ水分が水の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちるのが「がけ崩れ」です。突発的に起こり瞬時に崩れ落ちるので、大きな被害をもたらします。



前ぶれ現象

- ◎ がけに割れ目が見える
- ◎ がけから水が湧き出ている
- ◎ がけから小石が落ちてくる
- ◎ がけから木の根が切れるなどの音がある



【お問い合わせ先】

市民安全課（市役所4階）

TEL 32・2227
FAX 32・3522